

全国安全週間に合わせて、筑西労働基準監督署長が工場の安全パトロールを実施！

令和5年7月5日

筑西労働基準監督署（署長 土井昌利）は、全国安全週間期間中の7月5日に、結城市所在の株式会社大紀アルミニウム工業所 結城工場（従業員数 62 人）において、安全パトロールを実施しました。

同社では、リサイクルアルミ材を溶解・精製・鋳造しアルミ地金を製造しており、労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）に基づき種々の安全衛生活動が進められています。

リスクアセスメントや各種安全衛生教育、ヒヤリハット活動などの取組を継続的に実施している結果、当該事業場では令和5年7月5日現在、5579日の無災害記録を達成しています。



鈴木工場長から無災害記録の説明を受ける署長（右側）



フォークリフトのセーフティーライト



トラック運転手用の墜落制止用器具の取付設備

現場では、フォークリフトと労働者との接触防止対策として、フォークリフトに設けられたセーフティーライト（立ち入り禁止区域を高輝度LEDライトで可視化）により他の労働者に周知している点や、工場内に入出入りするトラック運転手の荷台からの墜落・転落災害を防止するため、墜落制止用器具の取付設備や昇降設備を設けていることなどを確認しました。

また、熱中症予防対策として、空調設備の整った休憩室内の冷蔵庫にスポーツドリンクが入ったペットボトル等を常備し労働者に無償で提供しているほか、休憩室等に塩タブレットを常備し、労働者が水分・塩分を自由に補給できるようになっていました。

署長から当該事業場に対して、今後も積極的な安全衛生活動を継続していただき、安全で働きやすい職場環境の確保に努めていただきたいと要請しました。